

# 新潟県難病相談支援センター＝便り

vol.21

〒950-2085 新潟市西区真砂1丁目14番1号 独立行政法人国立病院機構 西新潟中央  
TEL (025) 267-2170 FAX (025) 267-2210  
E-mail. niigata-nansen@nifty.com  
URL. <http://homepage2.nifty.com/niigata-nans>

## — 南魚沼地域 —

# 難病従事者研修会

新潟県難病医療ネットワーク、新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部、  
新潟県難病相談支援センター主催で研修会をおこないました



平成27年6月魚沼基幹病院が開院し、魚沼地域での難病患者の医療提供体制も変わりました。そこで難病に関わる医療従事者などに向け難病支援の取り組みと地域の現状を知ってもらい地域連携を図ることを目的に研修をおこないました。魚沼基幹病院の小澤先生よりパーキンソン病の治療などについて講演があり生活上の注意点など細かく学ぶことができ、また、魚沼圏域での難病医療の参考として他施設の話もありました。参加者のグループワークでは難病の患者さんが安心して医療体制のもと生活できるよう連携が必要であることが改めて確認できました。

## NPO法人新潟難病支援ネットワークの総会を開催しました

第9回通常総会を平成27年5月30日に独立行政法人国立病院機構西新潟中央病院大会議室で開催しましたので、概要をご報告します。

総会は、議決権のある正会員125人のうち出席者34人、委任状によるもの65人の計99人で、定款に定める定足数63人を上回り総会は成立いたしました。

なお、総会のプログラム・議案書及び決算報告書につきましては当法人のホームページで開示しますのでご覧ください。

### ●平成26年度事業報告・決算報告

事務局より平成26年度事業として、事業全般においてトラブルなく運営できたことについて、関係者に感謝の意が伝えられ、個々の事業の成果や新潟県難病相談支援センターに寄せられた相談の概要などの説明がなされました。平成26年度決算報告が行われた後、監事から適正に事業執行と予算執行が行われたとの報告があり、全会一致で承認されました。

### ●平成27年度事業計画・事業予算

事務局より平成27年度事業として、「会員難病患者団体等活動費補助金交付事業」を新規にモデル事業として実施すること、難病出前教室を昨年度の新潟県難病相談支援センター事業から新潟難病ネットワーク事業とし2校を対象に実施すること、今後新潟難病支援ネットワークの事務局職員の常勤化の検討をすること、ホームページをリニューアルすること、障害年金相談会を休止することなどについて説明がなされました。

予算については、総額で収入16,370千円、支出16,270千円とし、当期経常増減額100千円の黒字を見込んでいます。収入としては、県からの委託金11,077千円、会費収入631千円、寄付金4,660千円、その他収入2千円です。支出としては、難病相談支援センター事業費10,950千円、管理費5,320千円です。

事業計画と事業予算について、全会一致で承認されました。

### ●平成27年度役員

定款により役員の任期は2年であり平成26年度に改選をしたので平成27年度は変更のないこと、平成27年5月4日に小池容子理事がお亡くなりになりましたが定款により理事は5人以上20人以内とされており現在16人であることから欠員のままとすることが説明されました。

【小池容子理事は患者会（にいがた膠原病つどいの会）の代表として平成18年11月のNPO法人設立時から理事をお勤めいただきました。優しい人柄で、誠実に会の運営にご尽力いただいたこと深く感謝いたします。】

### ●講演会

総会終了後、「新しい難病制度について」と題して、新潟県福祉保健部健康対策課難病等対策係の高橋美穂副参事からご講演をいただきました。

平成27年1月1日から施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」の概要や新しくなった医療費助成制度について、変更点や注意すべき点など丁寧に解説していただき、参加者からはわかりやすく理解が深まったとの声をいただきました。



平成27年度

# センター事業報告

## ■ ■ ■ 難病従事者研修会 ■ ■ ■

実施日：平成27年7月7日(火) 13:30~16:10

会場：南魚沼地域振興局

内容：①講演「パーキンソン病などへの治療について 魚沼基幹病院にできること」  
講師 小澤鉄太郎（新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院神経内科教授）  
②情報提供「南魚沼管内における難病患者支援の現状」  
南魚沼地域振興局健康福祉環境部地域保健課 保健師 中村春歌

参加者：90人

## ■ ■ ■ 仲間づくり ■ ■ ■

### 茶話会

実施日：平成27年7月11日(土) 11:00~15:30

会場：新潟県難病相談支援センター

内容：今年度1回目の茶話会も患者さん自身が世話人になり自分たちでプログラムを工夫し、積極的に会を運営しました。

初回参加者5人を含め、参加者24人（家族3人を含む）でした。

ランチをはさみ、午前はグルーブトーク、午後はフリートークで楽しく過ごしました。通院のこと・仕事のこと・趣味など話はつきませんでした。

次回の10月18日(日)を、楽しみに散会しました。

## 難病患者さんに関する制度の情報です

### 1 「難病の患者に対する医療費に関する法律」関係

#### (1) 指定難病 第2次実施分（平成27年7月）

難病医療費助成制度の対象となる疾患(指定難病)が、平成27年7月1日から**306**疾患に拡大されました。

対象疾病は、厚生労働省のホームページ ([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/nanbyou/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nanbyou/index.html)) でご確認いただくか、新潟県難病相談支援センターへご照会ください。

#### (2) 難病の患者に対する医療等の総合的な推進を図るための基本的な方針

「難病の患者に対する医療費に関する法律」の施行については、医療費助成制度にかかる部分が先行して実施をされてきましたが、法律第4条で規定される「基本方針」の検討が進み、9月下旬に告示される予定です。難病相談支援センターの在り方も含め、難病患者の療養生活の環境整備等の充実に向けた動きが期待されます。

### 2 「障害者総合支援法」関係

「障害福祉サービス等<sup>※1</sup>」の対象となる疾病が、平成27年7月1日から**332**疾患に拡大されました。対象となる方は、障害者手帳<sup>※2</sup>をお持ちでなくても、必要と認められた支援が受けられます。詳しい手続き方法については、お住まいの市区町村の担当窓口にお問い合わせください。

※1 障害者・障害児は、障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業（障害児は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む）

※2 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

対象疾病は、厚生労働省のホームページ ([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaiyahukushi/hani/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaiyahukushi/hani/index.html)) でご確認いただくか、新潟県難病相談支援センターへご照会ください。

# 27年度 事業のご案内

## ●●● 医療講演会 ●●●

### <新潟地区>

日時：平成27年7月25日(土)  
会場：済生会新潟第二病院  
講演：潰瘍性大腸炎について  
講師：本間 照（済生会新潟第二病院）  
■新潟市保健所・新潟県難病相談支援センター  
主催

### <佐渡地区>

日時：平成27年9月12日(土)  
会場：佐渡総合病院  
講演：パーキンソン病について  
講師：小池亮子（西新潟中央病院）  
■佐渡地域振興局健康福祉環境部・新潟県難病相談支援センター主催

## ●●● コミュニケーション支援 ●●●

### \* 難病パソコン入門教室

日時：毎月第3木曜日 13:00~16:00  
会場：新潟県難病相談支援センター  
対象：一般のパソコン教室に通うことに不安のある方・難病でコミュニケーション障害のある方向けのパソコン教室

### \* 難病ITコミュニケーション支援講座

日時：平成27年9月6日(日)  
会場：西新潟中央病院  
対象：難病でコミュニケーション障害のある方  
地域で難病の方を支援している方・関係者  
内容：障害がすすんでもコミュニケーションの手段があることを、実習を通して知ってもらう。

## ●●● 就労支援相談会 ●●●

### \* 難病の人のための就労・生活支援セミナー

日時：平成27年10月3日(土)  
会場：ハイブ長岡  
内容：難病患者家族および関係者に就労機関の活用や生活支援制度について知ってもらうとともに希望者には個別相談を行います。

## ●●● 仲間づくり ●●●

### \* 茶話会

日時：平成27年7月11日(土) 11:00~15:30  
平成27年10月18日(日) 13:30~15:30  
平成28年3月12日(土) 11:00~15:30  
会場：新潟県難病相談支援センター  
対象：指定難病の方 又はご家族の方  
  
●いろいろな病気の方と話してみませんか。

## ●●● 患者会等支援 ●●●

### \* 患者会と懇談会

日時：平成27年7月31日(金) 13:00~

### \* ピアサポート研修

12月で調整中



# NPO法人新潟難病支援ネットワークからのお知らせ

NPO法人新潟難病支援ネットワークの平成26年度の実施事業と決算の概要について、お知らせします。

(平成27年5月30日に独立行政法人国立病院機構西新潟中央病院において第9回通常総会を開催し、承認されました。総会のプログラム・議案書及び決算報告書につきましては当法人のホームページで開示しますのでご覧ください。)

## 1 平成26年度実施事業の概要

### (1) NPO法人新潟難病支援ネットワーク事業

#### ① NPO運営事業

- ア 運営委員会の開催 (隔月で開催)
- イ 理事会の開催 (年2回審議)
- ウ 総会の開催
- エ センターの維持管理 (西新潟中央病院と連絡調整)
- オ 総会の後の演奏会について (“こころ”の皆さまのコンサートを開催)

#### ② 新潟県難病相談支援センター運営の受託

平成18年度から継続して運営

#### ③ 行政機関等の関係

新潟県自立支援協議会をはじめ、各種協議会に委員等で参加

#### ④ 新潟難病支援プロジェクト (自動販売機寄付)

平成21年度から株式会社ピーコック様、コカ・コーライーストジャパン株式会社様のご支援により、404台 (12月末現在) の自動販売機が設置

### (2) 新潟県難病相談支援センター事業の概要

#### ① 相談と支援事業 (常時2名の相談員体制)

#### ② 啓発促進・情報提供に関する事業

- ア センター便りの発行 (年3回発行)
- イ 事業年報の発行 (年1回発行)
- ウ 難病相談支援センターのPR (各種事業や研修会などで配布)
- エ 難病出前教室の実施

高等学校には「新潟難病支援プロジェクト」による難病支援自動販売機が設置され、生徒の皆さんには自動販売機を通じて多額の寄付を頂いています。生徒の皆さんに感謝と難病についての理解を深めてもらうため医療専攻コースのある新潟県立新潟西高等学校で医療専攻コースの生徒とボランティアクラブの生徒を対象に出前教室を行いました。

オ ホームページの管理・更新

カ 日常生活用具の紹介・情報提供 (カタログ等で相談者に紹介)

#### ③ コミュニケーション支援事業

- ア 難病パソコン入門教室 (月1回 (毎月第3木曜日) に実施)
- イ 難病ITコミュニケーション支援講座 (医療、福祉、保健等の関係者を対象に実習形式で実施)
- ウ 難病相談支援センターのPR (各種事業や研修会などで配布)

④ 就労支援に関する事業

- ア 難病就労支援機関懇談会（就労に携わっている関係機関との意見交換を実施）
- イ 難病患者の就労・生活セミナー（制度説明と就労希望難病患者を個別に支援）
- ウ 難病の人のための障害年金相談会
- エ 障がい者就業・生活支援センターの定例会議への参加

⑤ 患者会支援事業

- ア 患者会との懇談会（患者会等の意見要望を反映させるため年2回実施）
- イ 茶話会（「病気を限定しないで気楽に集まって話ができる場」として患者自身が世話人になり年3回実施）
- ウ ピアサポート研修

⑥ 研修会、学習会、交流会に関する事業

- ア 医療講演会・交流会  
広く県民に難病に対する正しい知識の普及を図るとともに、難病相談支援センターの役割と理解を広めるため、地域の患者サポート機関、医療機関、保健所、などと連携を図り患者さんの要望に沿った医療講演会を2回行いました。
- イ 難病従事者研修会（専門職の育成）
- ウ センター職員研修（相談員の資質向上のため研修計画に沿って実施）

2 平成26年度決算の概要

平成21年度から株式会社ピーコック様から難病支援自動販売機設置プロジェクトを立ち上げていただき、設置はコカ・コーライーストジャパン株式会社様の全面的なご支援により、県内で404台（平成26年12月末現在）の自動販売機が設置されました。難病支援自動販売機からの寄付金は当NPO法人と難病相談支援センターの運営、事業に使わせていただいております。

●事業会計貸借対照表（単位：円）

1 資産の部	流動資産	現金	94,951
		普通預金	4,034,621
		普通貯金	309,501
		定期預金	6,001,994
		未収金	306,800
		立替金	2,787
		計	10,750,654
	固定資産	建物(病院所有)	8,492,820
		備品等	316,692
		計	8,809,512
		資産の部合計	19,560,166
2 負債の部	流動負債	未払金	907,368
		未払消費税	402,100
		計	1,309,468
3 正味財産の部	前期繰越正味財産額		17,923,949
	当期正味財産増減額		326,749
	正味財産の部合計		18,250,698

●事業会計活動計算書（単位：円）

1 経常収益	入会金及び会費収入	644,000
	県からの委託金	11,044,800
	寄付金	5,213,439
	その他雑収入	7,606
	経常収益計	16,909,845
2 事業支出		11,456,238
3 管理費		5,126,858
	経常費用計	16,583,096
4 当期正味財産増減額		326,749
5 次期繰越正味財産額		18,250,698

# ご案内します♡患者会活動情報

## 平成27年6月～11月の活動案内

### 全国パーキンソン病友の会 新潟県支部

- ◇フリーマーケット出店
  - 9月6日(日)
  - 寺尾中央公園

- ◇医療一泊研修会
  - 9月27日(日)・28日(月)
  - サンローラル川口

### 新潟県スモンの会

- ◇総会
  - 6月28日(日)
  - 東映ホテル

### 日本ALS協会新潟県支部

- ◇第29回支部総会
  - 7月12日(日)
  - 新潟ユニゾンプラザ

### 新潟県腎臓病患者友の会

- ◇第44回定期総会
  - 7月5日(日)
  - 新潟ユニゾンプラザ
- ◇第14回会員家族交流会in柏崎
  - 7月12日(日)
  - 柏崎市 西山ふるさと館
- ◇新潟県臓器移植フォーラム
  - 9月19日(土)又は20日(日)
  - 長岡市 アオーレ長岡
- ◇①(一社)全国腎臓病協議会共催臓器移植フォーラム  
in新潟長岡
- ②新潟腎臓病患者友の会  
秋季研修会
  - 10月25日(日)
  - ホテルニューオータニ長岡

### サザンカの会 (脊柱靭帯骨化症患者会)

- ◇専門医を囲んで懇談会と食事会
  - 10月頃
  - 新潟市で調整中

### サルコイドーシスを語る会

- ◇総会
  - 6月28日(日)
  - 新潟市総合福祉会館

### 日本てんかん協会波の会

- ◇全国大会in石川
  - 10月3日(土)・4日(日)
  - 石川県 山中温泉

### 新潟SCDマイマイ (脊髄小脳変性症患者・家族会)

- ◇上越交流会
  - 7月26日(日)
  - 上越総合病院
- ◇新潟交流会
  - 9月13日(日)
  - 新潟市東区プラザ
- ◇長岡交流会
  - 10月を予定
  - 長岡市を予定
- ◇燕・三条交流会
  - 11月を予定
  - 燕市を予定

### SBMAの会 (球脊髄性筋萎縮症)

- ◇関西地区ミニ講演会
  - 10月24日(土)
  - エル・おおさか

### にいがた膠原病つどいの会

- ◇第16回定期総会
  - 6月13日(土)
  - 新潟市総合福祉会館
- ◇9月例会
  - 9月5日(土)
  - 新潟市総合福祉会館
- ◇医療講演会
  - 11月7日(土)
  - 新潟市総合福祉会館

### NPO法人 日本プラダー・ウィリー 症候群協会 新潟

- ◇交流会
  - 7月5日(日)
  - 新潟市関屋地区公民館
- ◇PWS講演会
  - 10月11日(日)
  - 新潟市関屋地区公民館
- ◇PWSの人たちの為の  
グループホームについて
  - 12月頃
  - 新潟市関屋地区公民館

\*お問い合わせは、当センターへどうぞ\*  
発行日の関係で、一部事業については  
終了いたしました。

# 平成27年度 保健所事業のお知らせ

現時点で計画されている事業についてお知らせします。詳細については、各保健所にご照会ください。

## ●新発田保健所 ● ☎ 0254-26-9133

パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の患者家族のつどい

- ① 7/9 (木) 交流会・薬剤師の講話
- ② 11/27 (金) 交流会 (予定)

神経難病セミナー

- ① 7/14 (火)
  - 内容：脊髄小脳変性症に関する講義及び患者会からの情報提供
- ② 9/8 (火)
  - 内容：パーキンソン病関連疾患に関する講義及び患者会からの情報提供
- ③ 11/10 (火)
  - 内容：MSA・DLBに関する講義及びグループワーク
  - 会場：県立新発田病院
  - 対象：保健・医療・福祉関係職員、介護サービス事業所職員、障害者相談支援事業所職員等

リハビリ相談会

- ① 10/8 (木) パーキンソン病関連疾患の患者家族
  - ② 10/21 (水) 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の患者家族
- 会場：七葉コミュニティセンター

## ●新津保健所 ● ☎ 0250-22-5174

神経難病患者・家族のつどい (五泉みなみ会)

- ① 7/13 (月) 交流会 言語聴覚士による口腔リハビリテーション
  - ② 9/15 (火) 笑いヨガ、昼食会、交流会
  - ③ 11/2 (月) 椅子に座ってできる体操、次年度計画の企画
- 会場：五泉市福祉会館

## ●三条保健所 ● ☎ 0256-36-2363

患者・家族のつどい (はつらつ会)  
(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症)

- ① 7/16 (木) 家庭でできる体のリハビリ
  - ② 10/28 (水) 音楽鑑賞会「はつらつコンサート」
  - ③ 3/9 (水) 家庭でできることばのリハビリ
- 会場：三条東公民館

## ●佐渡保健所 ● ☎ 0259-74-3407

神経難病患者・家族のつどい

- ① 7/9 (木) ミュージックケア・交流会
  - ② 9/10 (木) 食事会・交流会
  - ③ 11/12 (木) 家庭でできるリハビリ学習会
  - ④ 1/14 (木) マジック教室
  - ⑤ 3/3 (木) 来年度計画つくり・交流会
- 会場：佐渡総合病院 (②は未定)  
10:30~15:00

## ●長岡保健所 ● ☎ 0258-33-4931

パーキンソン病患者・家族のつどい (榎の会)

- ① 7/14 (火) 専門医による相談
  - 会場：高齢者センターしなの
  - ② 9/15 (火) リハビリ相談
  - 会場：高齢者センターしなの
  - ③ 10/1 (木) 栄養相談
  - 会場：見附市保健福祉センター
  - ④ 10/23 (金) 作品展・歯科相談・栄養相談
  - 会場：高齢者センターしなの
  - ⑤ 11/10 (火) ことばのリハビリ相談
  - 会場：高齢者センターしなの
- 発症間もないALS患者・家族のつどい
- ① 10/29 (木) 専門相談 (日本ALS協会新潟県支部)
  - 会場：長岡市中央公民館

## ●南魚沼保健所 ● ☎ 025-772-8137

難病患者・家族のつどい (神経難病)

- ① 7/22 (水) 家でできる口の体操
  - ② 9/30 (水) 薬の話
  - ③ 11/18 (水) 歌を歌おう
- 会場：南魚沼地域振興局

## ●柏崎保健所 ● ☎ 0257-22-4161

神経難病患者・家族のつどい (よねやま会)

- ① 7/8 (水) 家庭でできるリハビリテーション
- 会場：アルフォーレ
- ② 9/17 (木) 日帰り温泉旅行

## ●上越保健所 ● ☎ 025-524-6132

神経難病患者・家族のつどい

- ① 7/16 (木) 医師講話
- 会場：上越保健所
- ② 10/1 (木) 手作業・茶話会
- 会場：妙高市役所
- ③ 10/8 (木) 運動レクリエーション
- 会場：上越勤労身体障害者体育館
- ④ 11/6 (金) 手作業・茶話会
- 会場：春日謙信交流館

## ●糸魚川保健所 ● ☎ 025-553-1936

① 9/17 (木) 交流会

- 会場：大和川地区公民館
- 対象：神経難病患者・家族
- ② 11/5 (木) 難病リハビリ講演会
- 会場：糸魚川保健センター
- 対象：神経難病患者・家族、支援者



第56回日本神経学会学術大会（平成27年5月新潟市開催 会場：朱鷺メッセ）ポスターセッションにおいて、センター事業の「茶話会」について発表しました。その内容について報告します。

## 「茶話会」からピアサポートへ ～難病患者支援の実践～

### 【はじめに】

当センターでは「同病の人はどうしているのか話をしたい」「家族にもわかってもらえない」という声に対し、患者会のない疾患の人や患者会があっても入れない人のために、気軽に話ができる場を作ろうと「茶話会」を開催している。

今回参加者を対象にアンケート調査を実施したので報告する。

### 【目的】

1. 「難病患者が気楽に集まり話ができる場」の評価
2. ピアサポート体制の充実と支援の方向性を探る

### 【調査方法】

全参加者59人にアンケート調査を実施した。アンケートの配布回収は郵送で行い、回答は31人（回収率52.5%）から得た。

### 【アンケート調査結果】（表1）

回答者の平均参加回数、A群（1, 2回参加群）とB群（3回以上参加群）に分け集計し比較分析した。

#### \* A群とB群の比較の結果

1. 「情緒的サポート受容」の項目では、「病気を受け入れられた」、「病気を客観的にみられた」の項目でB群が高かった。
2. 「情報的サポート受容」の項目では、「体験から日常生活の工夫を教わった」の項目でA群とB群の差が大きかった。
3. 「サポート提供」の項目では、「経験を生かし役に立ちたい」の項目でB群の70%以上が「ある」と回答し、A群とB群の差が顕著だった。

### 【考察】

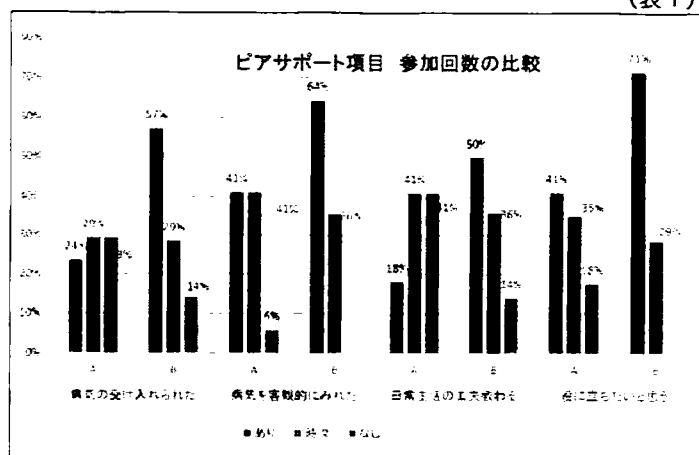
- ・ 病気による孤独感や挫折感、無力感を持った人が、茶話会に参加することにより早い段階から思いを共感できたり、病気を受容できるようになった。
- ・ 茶話会に参加を継続していく中で情報を共有したり、さらに他の人を支えたい、他の人を支援したいという気持ちが芽生え始めた。

### 【まとめ】

1. 患者同士が交流するなかでお互いを支え合うピアサポートの力を確認できた。
2. 今後当センターは、患者の主体性を引き出しながら、患者相互のピアサポートの力を高められ、自主的な活動ができるよう支援していきたい。



ポスターセッション会場にて



## ● 難病患者就職サポーターをご活用ください ●

ハローワーク新潟の専門援助部門に「難病患者就職サポーター」が配置され今年6月から活動を開始しました。

新潟県難病相談支援センターと連携しながら、就職を希望する難病患者に対する症状の特性を踏まえた細かな就労支援や在職中に難病を発病した患者の雇用継続などの総合的な支援をおこないます。

新潟県難病相談支援センターでも、「病気で仕事を辞めたが病状が落ち着いたので仕事探しをしたい、どうすればいいだろう」という相談が増えています。

ハローワークだけでなく新潟県難病相談支援センターでも出張相談を行うようになり一層連携しながら仕事探しのお手伝いができることになりました。

不安や困っていることについて一緒に考えていきたいと思っています。

一人で悩んでいないでお気軽に相談ください。



● 相談日 毎月第1・第3金曜  
13:00~16:00

\* 相談は無料ですが  
事前予約が必要です

● お申し込み・問い合わせは

新潟県難病相談支援センター

新潟市西区真砂1-14-1 西新潟中央病院内

**025-267-2170**

## NPO法人新潟難病支援ネットワークからのお知らせ

ご寄付ありがとうございました ー敬称略ー (平成27年3月~6月)

・難病支援自動販売機

(支援元 (株)ピーコック 設置 コカ・コーライーストジャパン(株))

3月 280,395円

26年度累計 4,767,928円

4月~6月 1,039,067円

・個人・団体

一般財団法人 協和会 70,000円

小池亮子 7,000円

西澤正豊 2,000円

小池容子(故人) 7,520円

若林佑子 7,000円

尾崎陽子 2,000円

塚田正幸 7,000円

・募金箱

1,900円



一般財団法人協和会様に感謝状をおおくりしました。  
(当法人大平常務理事から協和会塚田理事長様に)